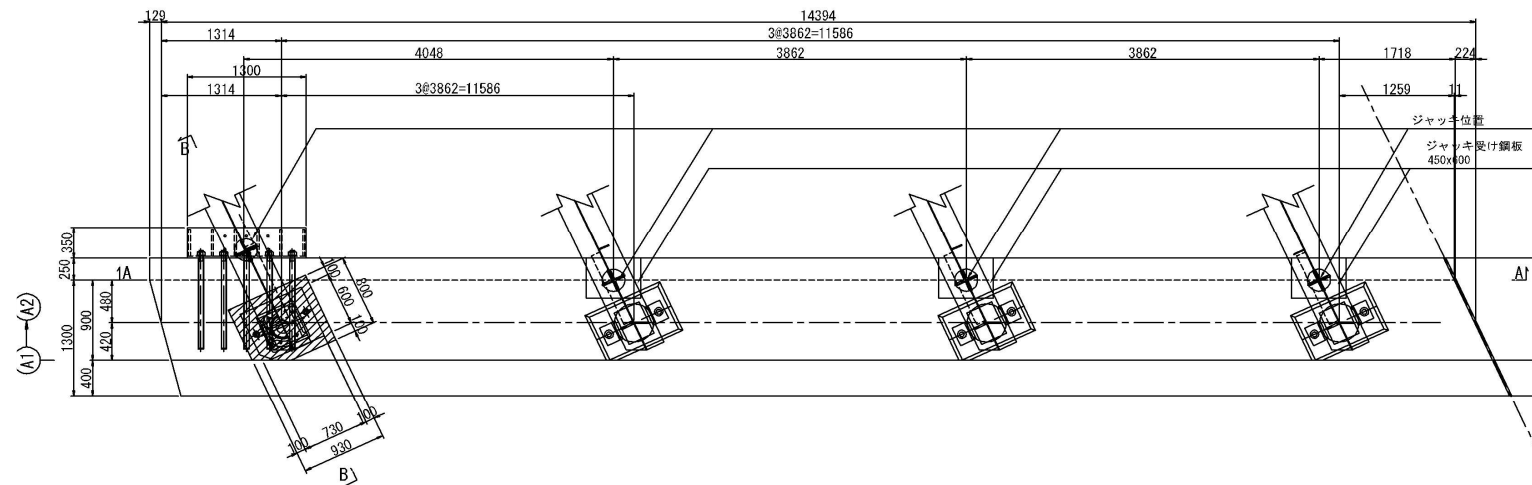
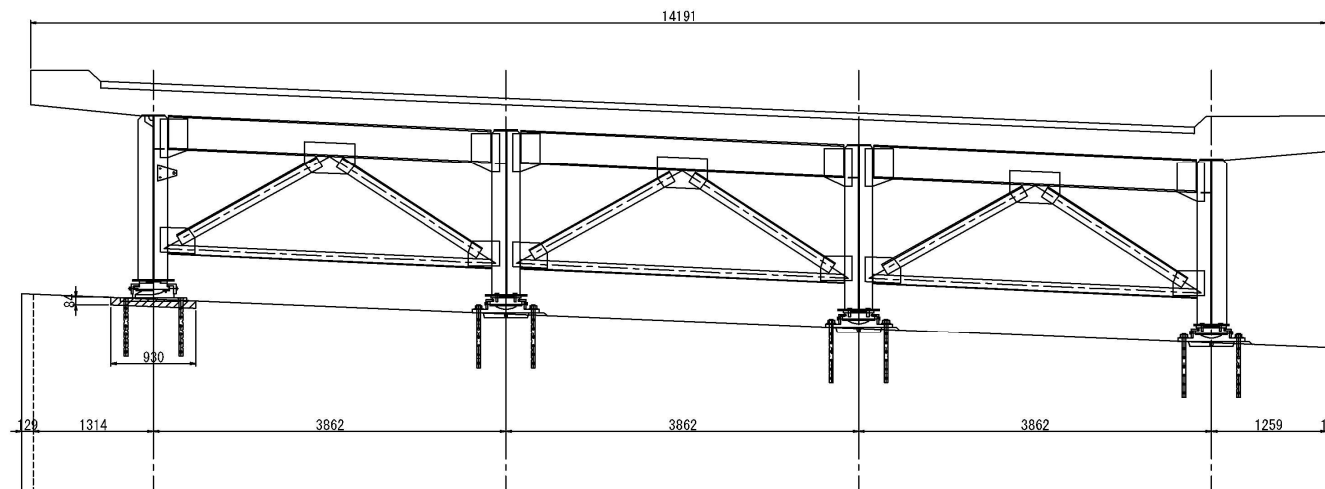


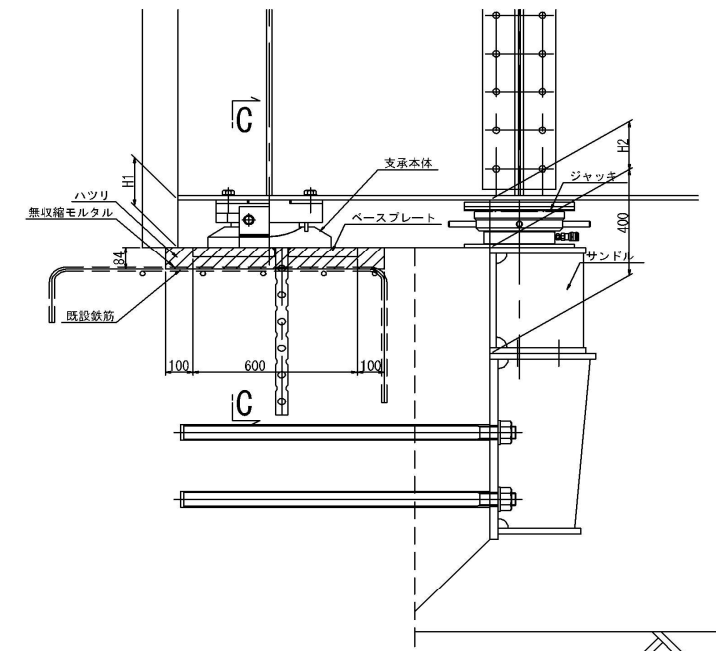
平面図(上り線) 縮尺 1 : 30



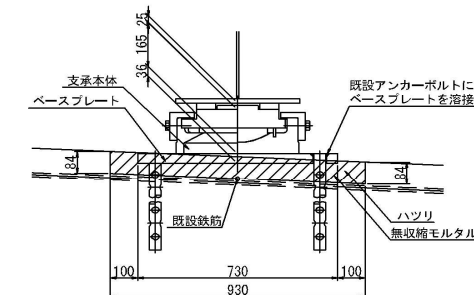
A-A 縮尺 1 : 30



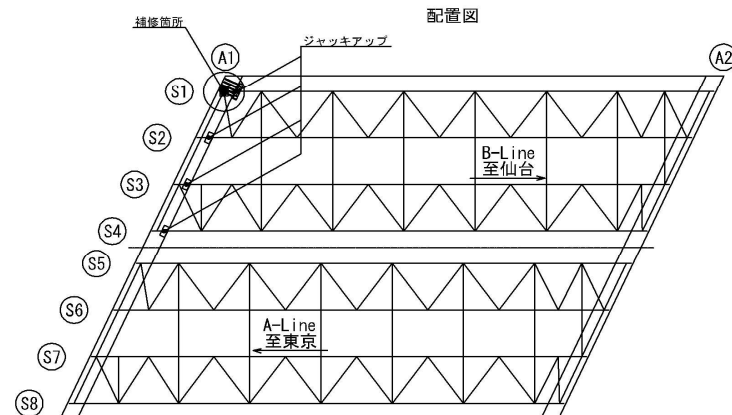
B-B 縮尺 1 : 10



C-C 縮尺 1 : 10



配置図



構造高表

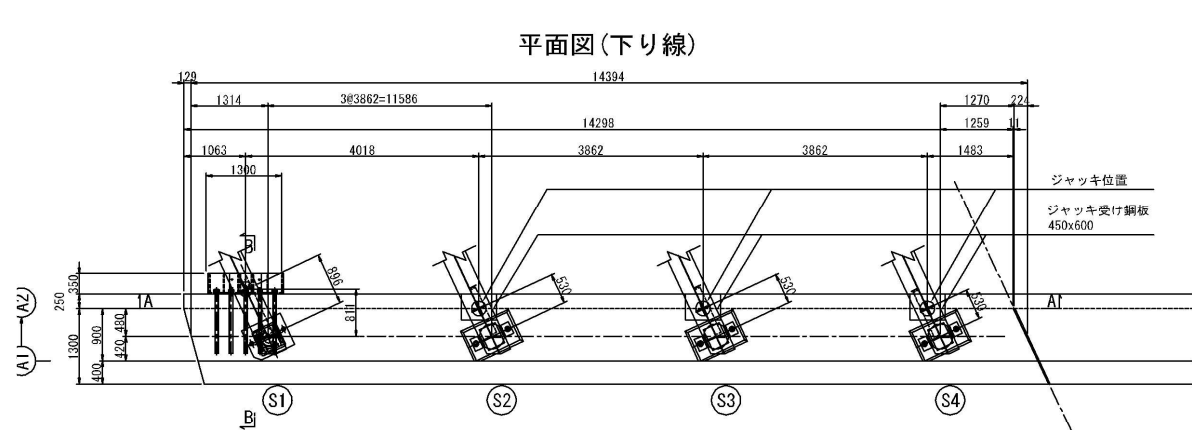
構造形式	\$1	
	L	R
上部工下面～下部工天端 H1(桁端部)	195	205
上部工下面～下部工天端 H2(壁面前面)	180	185
ソールプレート		25
支承本体		165
ベースプレート		32
ハツリ抜き		84

【特記事項】

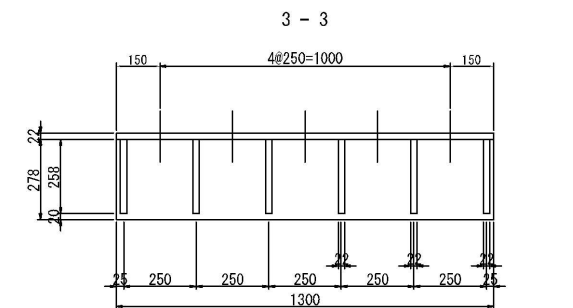
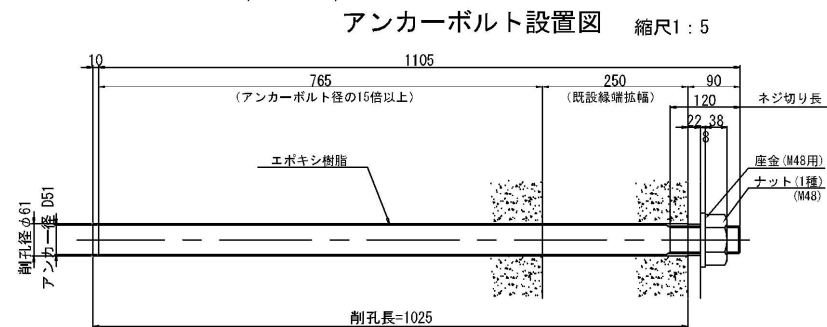
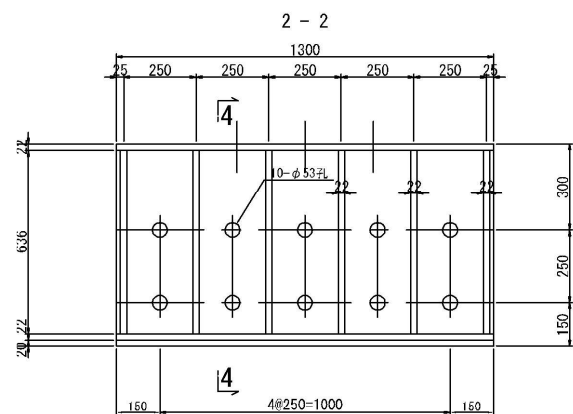
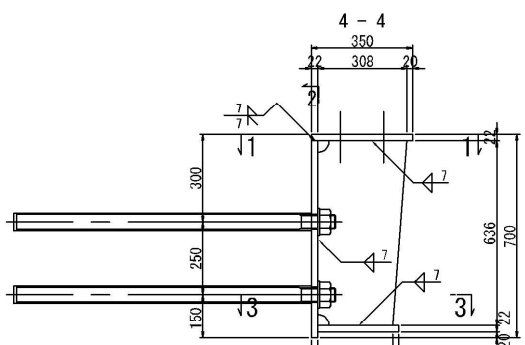
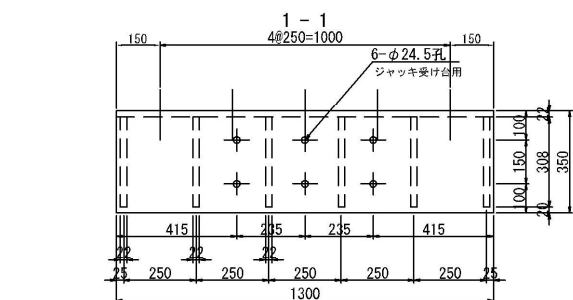
1. 既設アンカーボルトは、ベースプレート上面位置で切断しグラインダー仕上げとする。
2. ベースプレート上面が、沓座天端より低くなる場合は、仕上げ形状を協議の上決定すること。
3. 支承を取り替えない箇所でのジャッキアップは、沓座モルタルの一撤去・復旧を行うこと。

東北自動車道 原瀨川橋塗装塗装工事			
図面の種類	油井川橋 支承代替工（２）		
縮 尺	NON	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所		

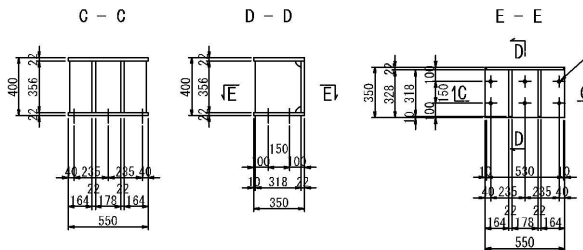
※ ジャッキアップ用垂直補強材のみ残存している



鋼製ブラケット 縮尺1:10



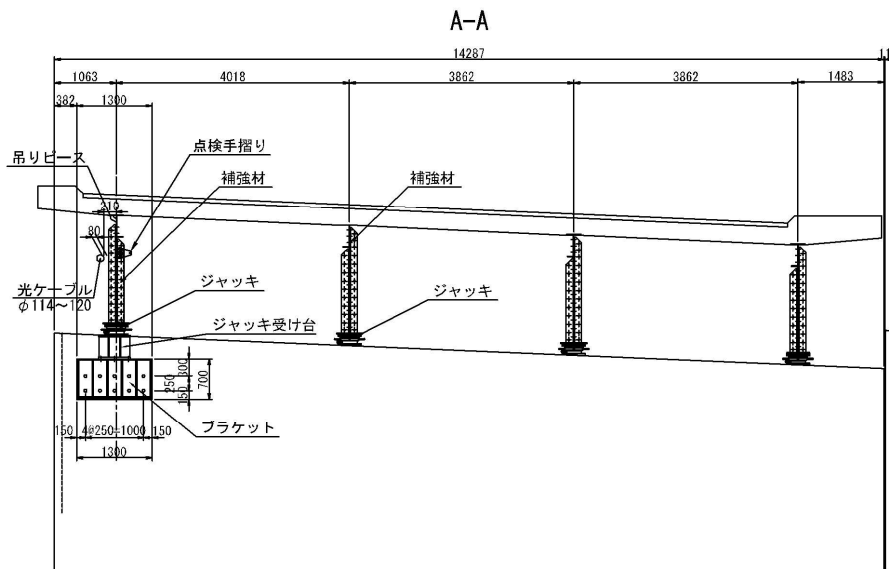
ジャッキ受け台 縮尺1:20



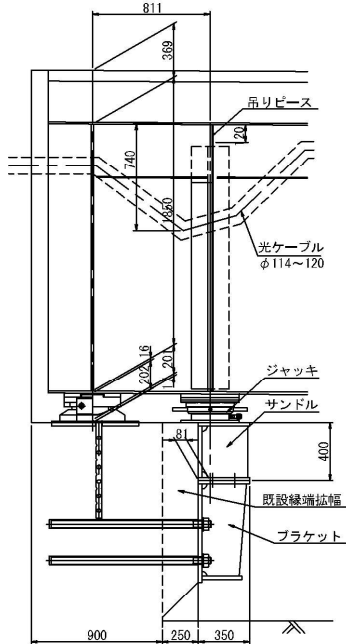
- 1-PL 678×22×1300 (SM400A)
1-PL 350×22×1300 (SM400A)
1-PL 278×22×1300 (SM400A)
6-PL 308×22×636 (SM400A)
10-アンカーボルト D51×1105 (SD345、M48ネジ切長120mm)
10-ナット・座金 M48 (1種)

【特記事項】

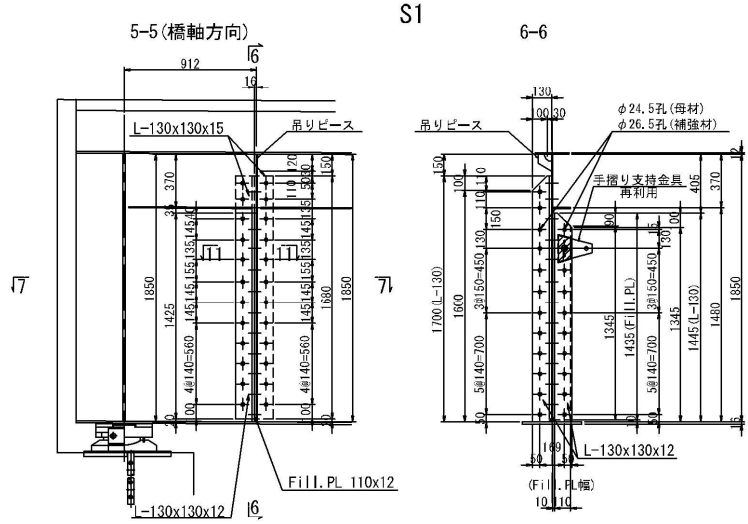
- 特記なき材質はすべてSS400とする。
- 特記なきスカーラップは40Rとする。
- 現地寸法、施工方法を検討の上構造寸法を決定すること。
- アンカーボルトが既設鉄筋と干渉する場合は、配置位置を検討しボルト位置を再設定する。
- 吊用孔等を別途設けてもよい。
- アンカーボルト（ナット、座金を含む）は現地存置とする。
- アンカーボルトのネジ切り部、ナット、座金は、溶融亜鉛メッキ HDZ35 とする。
- 鋼製ブラケット、アンカーボルト、ジャッキ受け台は、削孔後詳細図を別途作成。



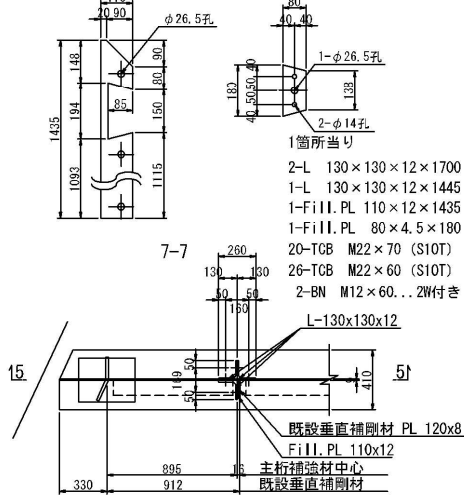
B-B(パラペット直角方向) 縮尺1:20



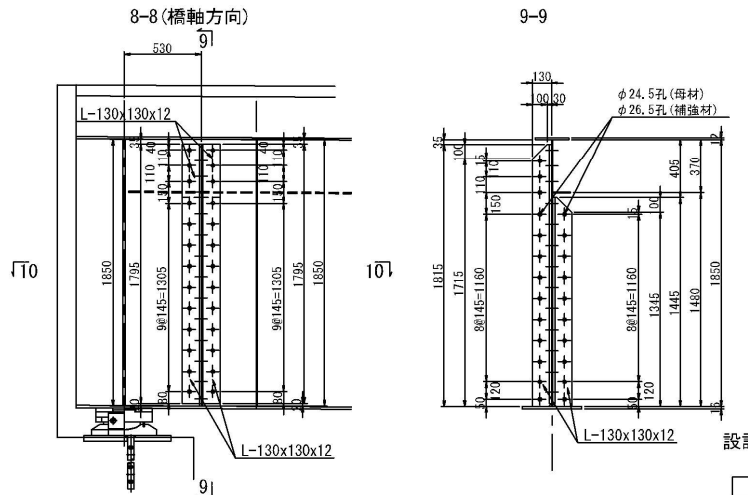
補強材詳細図 縮尺1:20



Fill.PL詳細図 縮尺1:10



S2~S4



設計反力表

設計反力表
(kN)
A1 (S1)
1170.3

(不均等係数 $\alpha=0.1$ を考慮している)

※ ジャッキアップ用垂直補強材のみ残存している

東北自動車道 原瀬川橋塗替塗装工事	
図面の種類	油井川橋 支承取替工（３）
縮尺	NON 図面番号 /
設計会社名	
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所

増塗塗装位置図

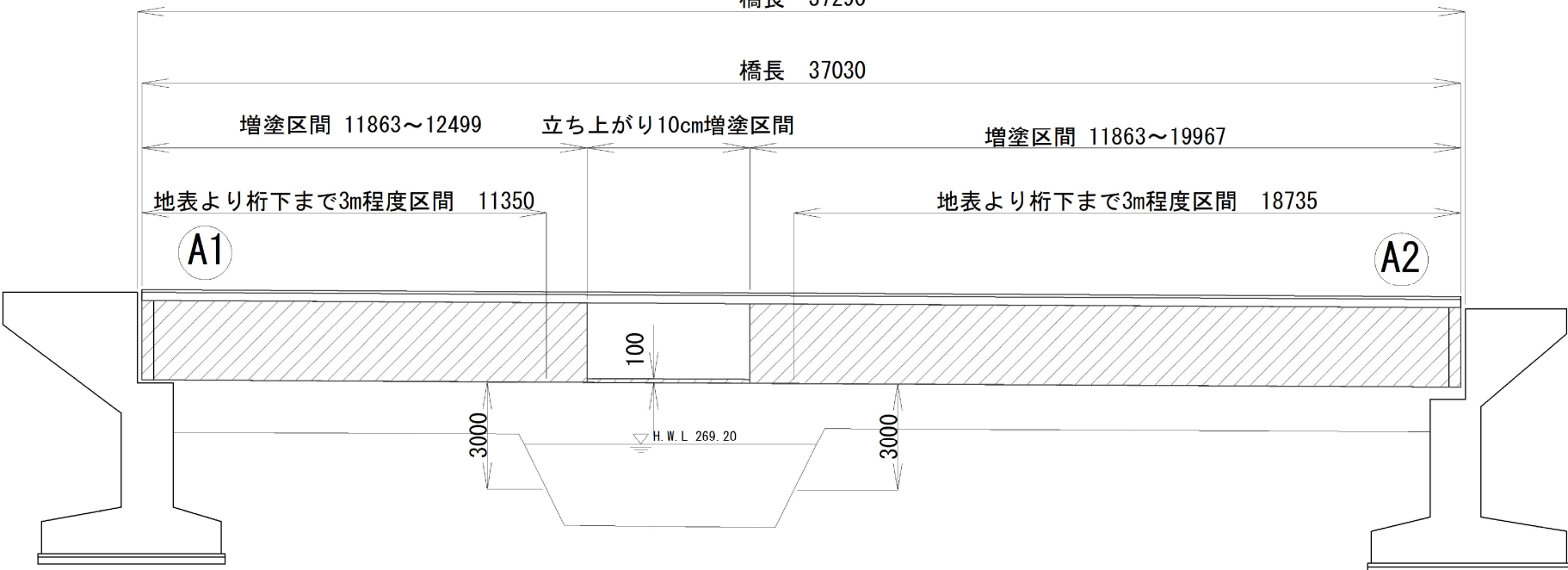
増塗塗装面積	上り	下り	合計
	m ²		m ²
油井川橋	932.3	932.3	1,864.6

主桁（上り下り）

油井川橋

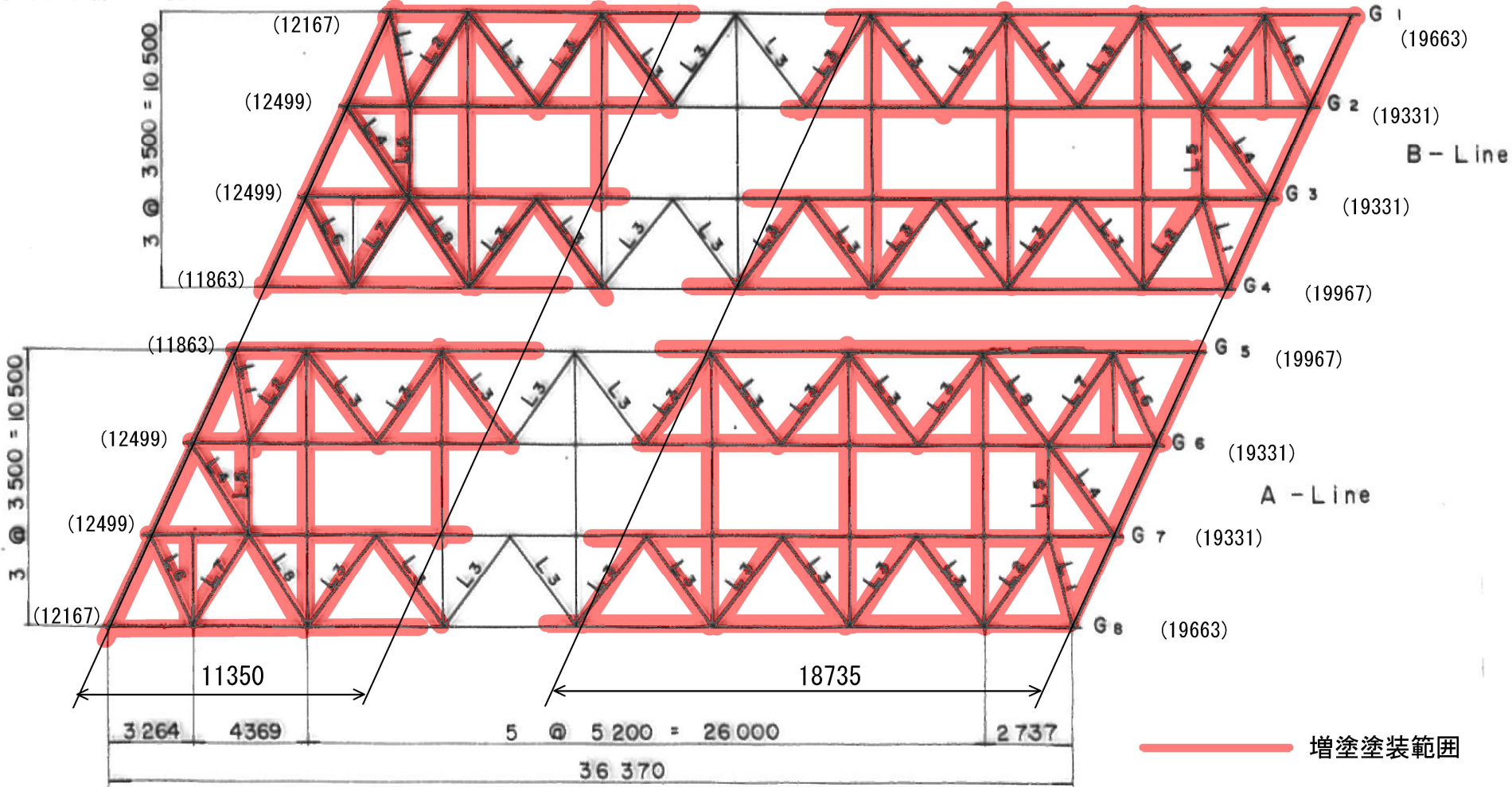
橋長 37290

橋長 37030

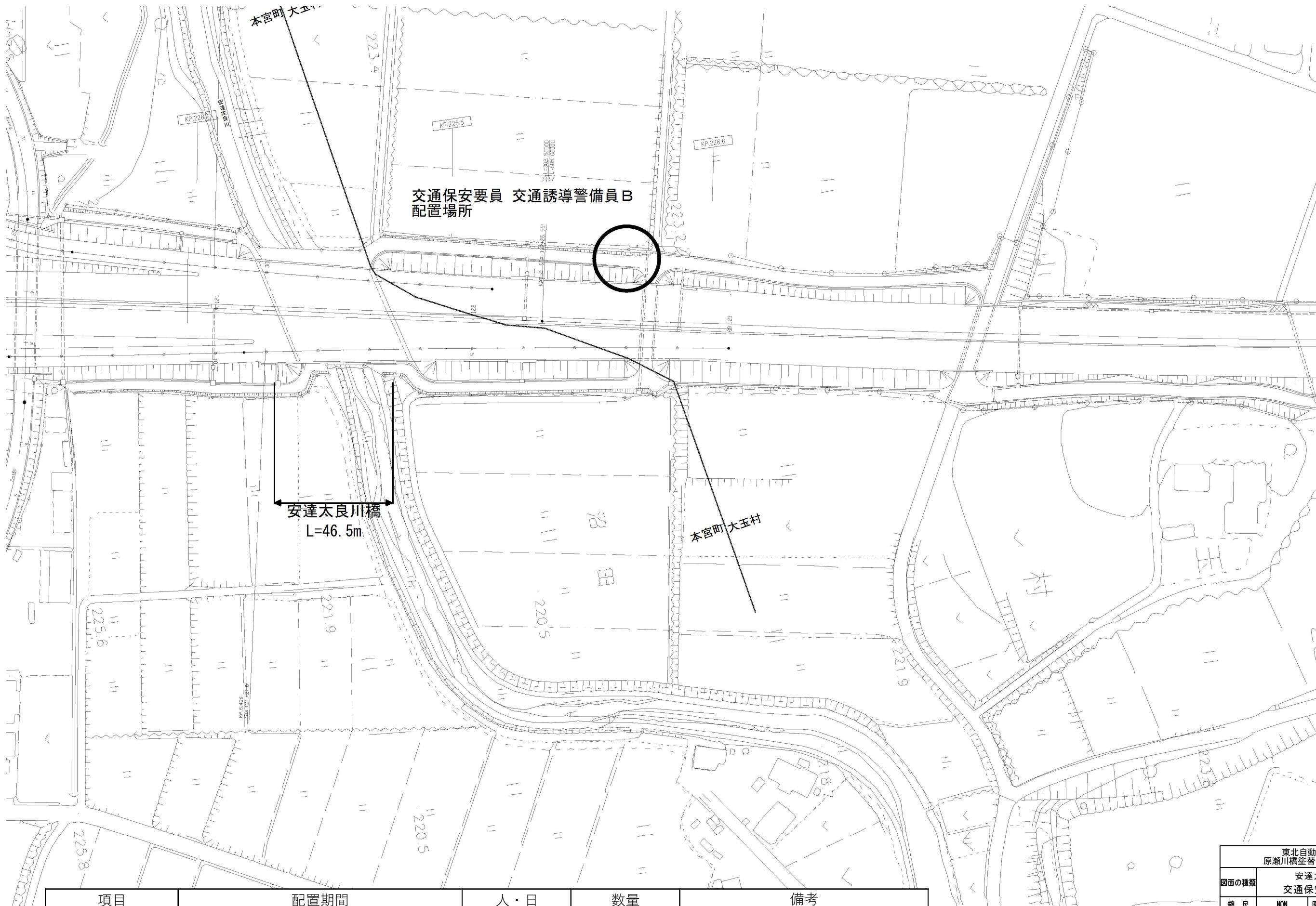


GU-1桁 起点側11350 →第十二補剛材まで (12167)、終点側18735 →第十九補剛材まで (19663) を塗装範囲とする。
GU-2桁 起点側11350 →第十三補剛材まで (12499)、終点側18735 →第十八補剛材まで (19331) を塗装範囲とする。
GU-3桁 起点側11350 →第十三補剛材まで (12499)、終点側18735 →第十八補剛材まで (19331) を塗装範囲とする。
GU-4桁 起点側11350 →第十三補剛材まで (11863)、終点側18735 →第十八補剛材まで (19967) を塗装範囲とする。
GD-5桁 起点側11350 →第十三補剛材まで (11863)、終点側18735 →第十八補剛材まで (19967) を塗装範囲とする。
GD-6桁 起点側11350 →第十三補剛材まで (12499)、終点側18735 →第十八補剛材まで (19331) を塗装範囲とする。
GD-7桁 起点側11350 →第十三補剛材まで (12499)、終点側18735 →第十八補剛材まで (19331) を塗装範囲とする。
GD-8桁 起点側11350 →第十二補剛材まで (12167)、終点側18735 →第十九補剛材まで (19663) を塗装範囲とする。

対傾構・横構（下り線A 1側）

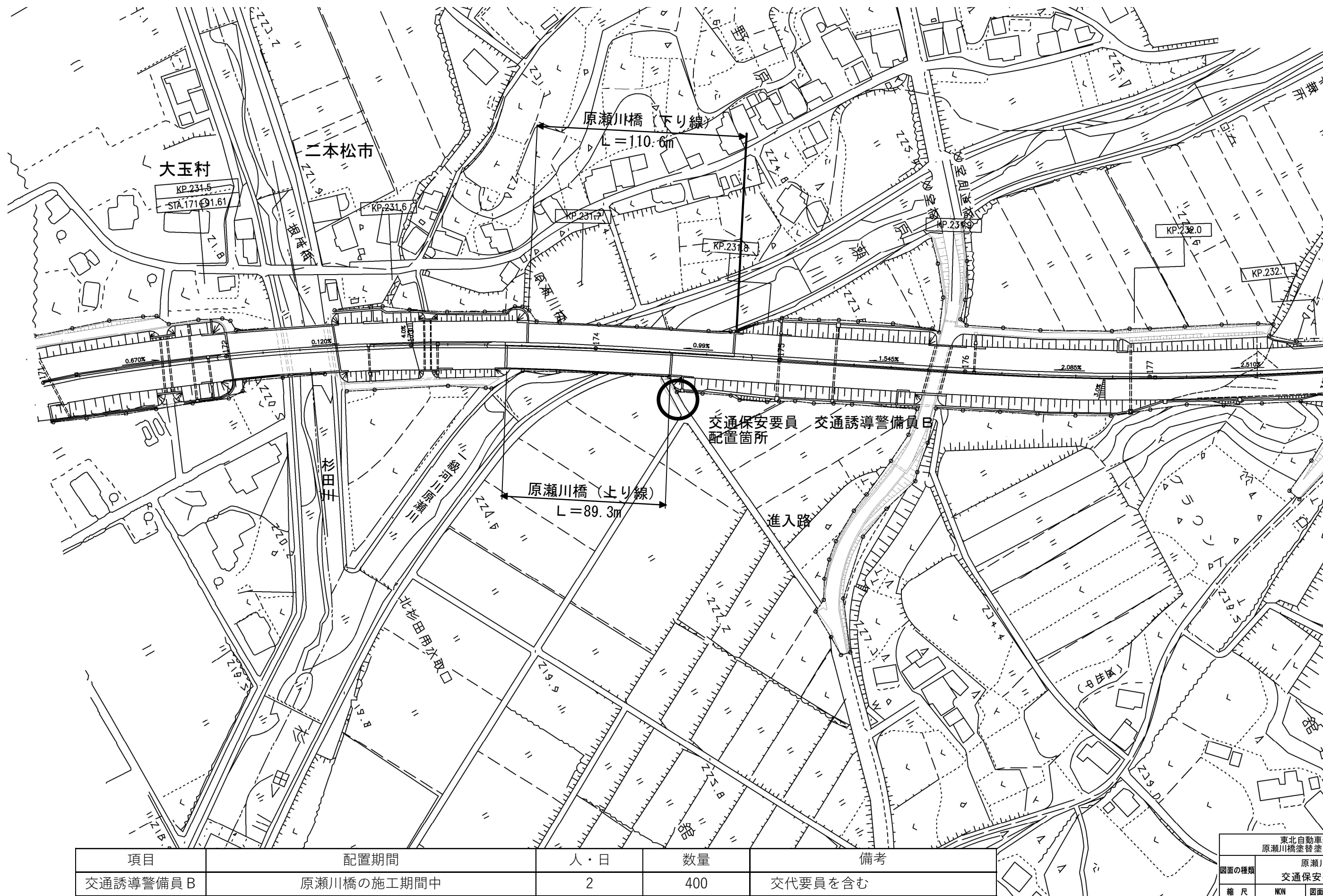


東北自動車道 原瀬川橋塗替塗装工事			
図面の種類	増塗塗装位置図 油井川橋		
縮尺	NON	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所		



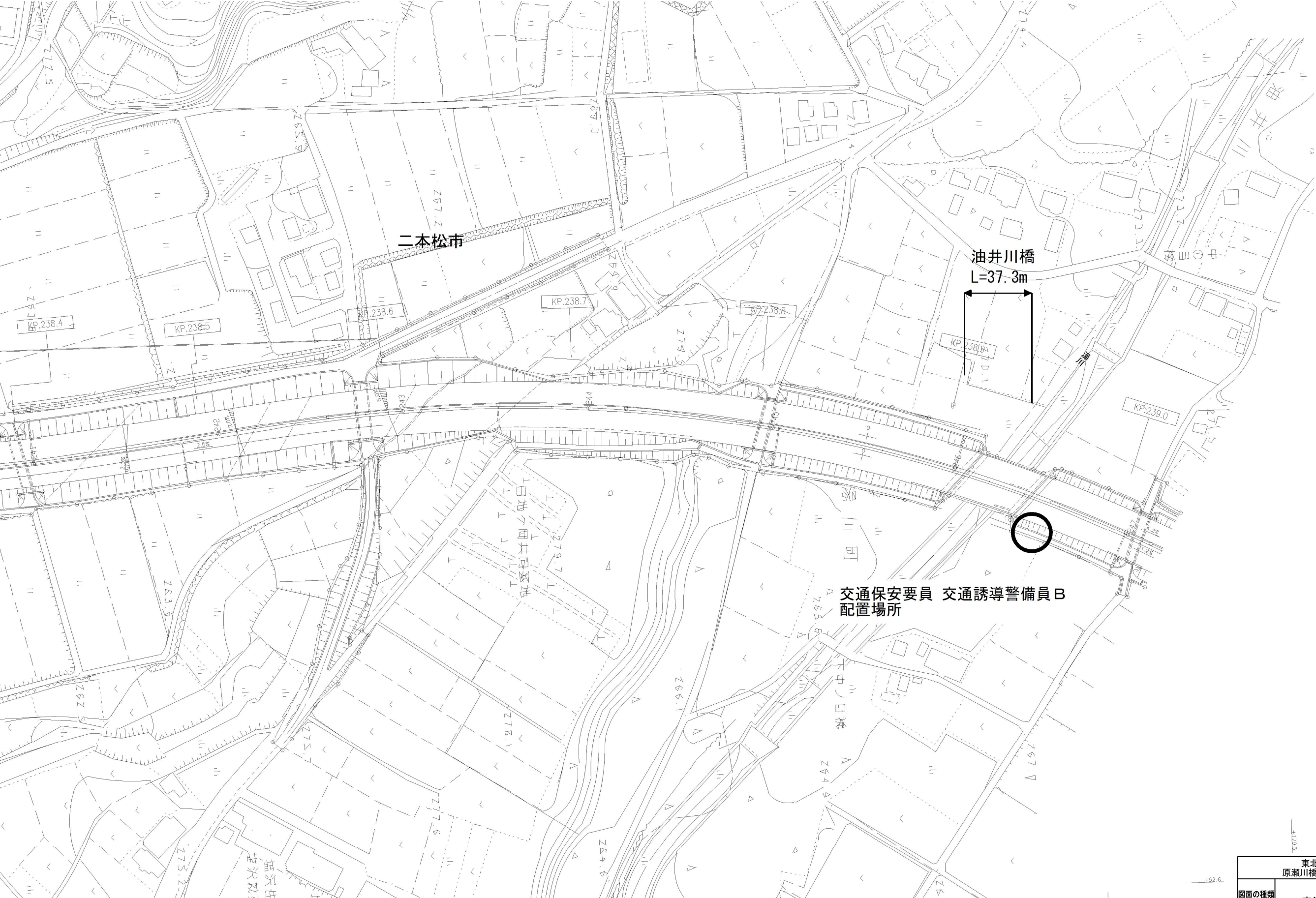
項目	配置期間	人・日	数量	備考
交通誘導警備員 B	安達太良川橋の施工期間中	2	414	交代要員を含む

東北自動車道 原瀬川橋塗替塗装工事			
図面の種類	安達太良川橋 交通保安要員配置図		
縮 尺	NON	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所		



項目	配置期間	人・日	数量	備考
交通誘導警備員 B	原瀬川橋の施工期間中	2	400	交代要員を含む

東北自動車道 原瀬川橋塗装工事			
図面の種類	原瀬川橋 交通保安要員配置図		
縮尺	NON	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所		



項目	配置期間	人・日	数量	備考
交通誘導警備員 B	油井川橋の施工期間中	2	278	交代要員を含む

東北自動車道 原瀬川橋塗替塗装工事			
図面の種類	油井川橋 交通保安要員配置図		
縮 尺	NON	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所		